

1歳児ひよこ組



「こうやるのかな」

令和6年 4月

“靴を履こう”と声を掛けると自分で履いてみようとしている場面です。



毎日同じ保育士と生活をしていくことで、子ども達の中に笑顔や安心感が見られるようになりました。自分でやろうとしている時に全て大人がやってしまうのではなく、その姿を見守り、まだ一人では難しいことは手伝うようにしています。一人一人のペースに合わせた手助けや見守りをしていくと子ども達の“やってみたい!” “できた!” という気持ちが育っていきます。